

No. 2

1. 総括

平成18年度より、30名の定員での運営ですが、他市町村からの園児の受け入れをしております。地域交流や小学校との交流にも力を入れております。また、運営とともに地域の活性化となるよう、子育て支援をしていきたいと思っております。

4. 組織体制等

別表 1. 2

5. 勤務体制、時間等

開園時間 7:00~18:00 園児降園までとする
 平成22年度5月より延長保育事業の為18:00~19:00まで延長保育時間 職員週休2日制 週40時間労働

6. 職員研修実施内容

別紙 NO. 2

7. 年間行事実施内容

別紙 NO. 2

8. 災害訓練、健康管理、衛生管理、職員会議等実施内容

別紙 NO. 2

9. 設備、備品、遊具等の充実内容

なし

10. 建物等修理、修繕実施内容

なし

11. その他

なし

2. 年間利用者(児)人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
種別	27	27	29	29	29	29	28	27	27	27	27	27	332
措置数	15	15	16	16	16	16	16	15	15	15	15	15	185
未満児	12	12	13	13	13	12	12	12	12	12	12	12	147
合計	27	27	29	29	29	28	28	27	27	27	27	27	332

6/1. 2名入園・9/1退園・11/1入園

3. 職種別職員数 (平成30年3月31日付)

職種	施設長	副園長	主任保育士	保育士	調理員	事務員	嘱託医	保育補助	合計
常勤職員	1	1	1	6	1	1			11
パート職員									
嘱託							2		2
合計	1	1	1	6	1	1	2		13

平成30年度
月初日在籍人数

3才以上児 未 満 児	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	計	7	計	7	計	8	計	8	計	8	計	8
りんご5歳	5	2	5	2	6	2	6	2	6	2	6	2
ぶどう4歳	0	5	0	5	0	5	0	5	0	5	0	5
みかん3歳	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2
もも2歳	2	3	2	3	2	3	2	3	2	3	2	3
いちご1歳	3	1	3	1	3	1	3	1	3	1	3	1
さくらんぼ0歳	1	2	1	2	1	3	1	3	1	3	1	3
計	12	15	12	15	13	16	13	16	13	16	13	15
3才以上児計	6	9	6	9	7	9	7	9	7	9	7	9
未満児計	6	6	6	6	6	7	6	7	6	7	6	6
入退所者名	入)笹森心羽 入)沼澤泰木				入)玉川 愛 入)小笠原涼空						退)笹森心羽	
3才以上児 未 満 児	10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	計	8	計	8	計	8	計	8	計	8	計	8
りんご5歳	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2
ぶどう4歳	0	5	0	4	0	4	0	4	0	4	0	4
みかん3歳	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2
もも2歳	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
いちご1歳	3	1	3	1	3	1	3	1	3	1	3	1
さくらんぼ0歳	1	3	1	3	1	3	1	3	1	3	1	3
計	13	15	13	14	13	14	13	14	13	14	13	14
3才以上児計	7	9	7	8	7	8	7	8	7	8	7	8
未満児計	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
入退所者名			退)ルース愛彩									
					総 合 計		以上児計		未 満 児 計		合 計	
					185		147		147		332	

平成30年度年間事業報告

項目 月	行事		職員研修・職員会議等		避難訓練等		健康管理 (健康診断・検診・検便)		その他	
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
4月	2	入園式	21	給食会議	17	避難訓練	12・23	内科・歯科検診(園児)	12・26	英語教室
	26	地域交流・芋植え				(地震・火災)	2・11・19	身体測定・職員検便		
5月	17	町・読みきかせ	1	職員会議・職員研修	15	避難訓練	8・10	検便	11・25	英語教室
	29	さつまいも植え	22	給食会議		(総合避難訓練)				
6月	12	親子クッキング	1	職員会議	12	避難訓練(火災)	1	身体測定	15・22	英語教室
	30	さくらんぼ祭り(年長)	22	給食会議		不審者訓練	6	検便		
7月	5	おもしろ科学教室 (年長)	24	職員会議	18	避難訓練(火災)	11	検便	13・27	英語教室
				職員会議・職員研修			28~26	職員健康診断		
8月	4	夕涼み会	20	給食会議	7	避難訓練	1	身体測定	3・24	英語教室
	23・25	秋祭り参加	31	職員会議・職員研修		(地震・火災)	8	検便		
9月	3	ジャガイモほり	22	給食会議	11	避難訓練(火災)	5・7	検便	14・21	英語教室
	5	親子遠足	25	職員会議						
10月	10~12	みらい敬老会参加								
	11	町・読みきかせ	24	給食会議	23	総合避難訓練	1	身体測定	12・26	英語教室
11月	15	防火パレード (年長)	30	職員会議・職員研修		(通報)	2・5	検便		
	19	地域交流 さつまいも掘					11	内科検診(園児)		
12月	14	保小中・交流会	24	給食会議	13	避難訓練(火災)	1	歯科検診(園児)	9・30	英語教室
	22	勤労感謝慰問	27	職員会議			7・12	検便		
	22	お遊戯会	21	給食会議	25	避難訓練	1	身体測定	7・14	英語教室

1月	15~17 23 26 30	みらい敬老会 おめでとう大会 (中和町市) 感謝祭 おめでとう大会 (東北町)	9	お誕生会	8 25 31	職員会議 給食会議 職員会議・職員研修	15	(地震・火災) 避難訓練(火災)	9・11	検便 インフルエンザ対策 検便	11・25	英語教室
2月	2	豆まき	2	お誕生会	22	給食会議	12	避難訓練(火災)	1 5	身体測定 検便	8・22	英語教室
3月	2 19 23 28	ひな祭り お別れ遠足(年長) 卒園式 稚魚放流(年長)	2	お誕生会	1 26 26	職員会議・職員研修 給食会議 職員会議	12	避難訓練 (地震・火災)	6・7	検便	8・15	英語教室

※ 身体測定 未満児毎月

【全体的な計画B】

平成30年度 小川原保育園 全体的な計画

発行日：H31/4/1

保育理念 地域社会の方々の協力をええ、情操教育、社会教育に努め、児童育成を旨とする保育園を目指す	豊育福祉 ○健全な心身の基礎を養う○自然な音楽を通して豊かな情操を養う ○望ましい習慣などを身につけ社会性を養う		保育士との信頼関係のもとに安定し、友だちと一緒に遊んだり、活動したりすることを楽しむ		特色ある保育 思いやり・優しさ・優れを大切にしながら、地域交流・施設訪問など積極的に取り入れる。 遊びを通して体がつくったり、責任と義務を習得できるようにする	
	乳児(保育士の関わり)	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
年齢別保育目標	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	5歳児
3つの柱	乳児(保育士の関わり)	身近なものに関わろうとする	基本的な生活習慣を取得する	様々な気付きや発見を喜ぶ	日常生活に必要な言葉の理解を理解する	規則・法則性などに気付き
	乳児(保育士の関わり)	喜怒哀楽などの豊かな感情を育む	自分の思いや気持ちを伝えようとする	様々な活動に参加する楽しさを味わう	様々な表現で伝え合う楽しさを味わう	見通しを立てたり、振り返ったりする
健康	生命の保持	安全に過ごす	安んじて過ごす	安んじて過ごす	安んじて過ごす	安んじて過ごす
	情緒の安定	心地よさや安心感が得られるよう	安んじて過ごす	安んじて過ごす	安んじて過ごす	安んじて過ごす
教育	3つの視点	健康	人間関係	環境	言葉	表現
	健康	健康	人間関係	環境	言葉	表現
健康及び安全	健康支援	健康診断・歯科検診の実施(年2回)。身体測定の実施(0・1歳児毎月)2歳児～5歳児各月)	健康診断・歯科検診の実施(年2回)。身体測定の実施(0・1歳児毎月)2歳児～5歳児各月)	健康診断・歯科検診の実施(年2回)。身体測定の実施(0・1歳児毎月)2歳児～5歳児各月)	健康診断・歯科検診の実施(年2回)。身体測定の実施(0・1歳児毎月)2歳児～5歳児各月)	健康診断・歯科検診の実施(年2回)。身体測定の実施(0・1歳児毎月)2歳児～5歳児各月)
	子どもの人権	子どもの人権には十分に配慮し、子ども一人ひとりの人格を尊重する。	子どもの人権には十分に配慮し、子ども一人ひとりの人格を尊重する。	子どもの人権には十分に配慮し、子ども一人ひとりの人格を尊重する。	子どもの人権には十分に配慮し、子ども一人ひとりの人格を尊重する。	子どもの人権には十分に配慮し、子ども一人ひとりの人格を尊重する。
社会的責任	子どもの人権	子どもの人権には十分に配慮し、子ども一人ひとりの人格を尊重する。	子どもの人権には十分に配慮し、子ども一人ひとりの人格を尊重する。	子どもの人権には十分に配慮し、子ども一人ひとりの人格を尊重する。	子どもの人権には十分に配慮し、子ども一人ひとりの人格を尊重する。	子どもの人権には十分に配慮し、子ども一人ひとりの人格を尊重する。
	子どもの人権	子どもの人権には十分に配慮し、子ども一人ひとりの人格を尊重する。	子どもの人権には十分に配慮し、子ども一人ひとりの人格を尊重する。	子どもの人権には十分に配慮し、子ども一人ひとりの人格を尊重する。	子どもの人権には十分に配慮し、子ども一人ひとりの人格を尊重する。	子どもの人権には十分に配慮し、子ども一人ひとりの人格を尊重する。

保育理念 (事業運営方針)		地域社会の方々の協力をえて、情操教育、社会教育に努め、児童育成を目指し貢献する保育園にしたい。				
保育方針		・健全な心身の基礎を養う。 ・望ましい習慣などを身につけ社会性を養う。		のびのびとした元気な子どもを育てる		
☆発達過程とクラスの相関性		☆地域に実態に対応した事業				
年齢別 6 クラスで園生活を送る中で「思いやり、やさしさ、あこがれ」を大切にし、保護者等は子供自身の力を十分に認め養護、教育される。		☆基本的社会的責任 地域の方々や、子育て家庭において保育園の役割や必要性を十分に果たす。		田畑が広がる農園地帯に囲まれ集落も広範囲に広がり 2 世代、3 世代家庭が多い。子育て伝統芸能を伝承し発表の場として活用し地域のニーズに応え機能している		
子どもの保育目標	0 歳児	生理的欲求を満たし生活リズムをつかむ	2 歳児	想像力を広げながら、集団活動に参加する	4 歳児	友だちとのつながりを広げ、集団で活動する
	1 歳児	行動範囲を広げ探索活動を盛んにする	3 歳児	身近な自然などに積極的に関わり、意欲を持って活動する	5 歳児	目標を持って活動に意欲的に取り組む
保育理念に対する評価		保育方針に対する評価		保育目標に対する評価		
地域交流も含め行事においては、地域の協力にも協力してもらいながら行えた。 小学校や近所の郵便局などに行事のお知らせを貼りだしてもらったり、招待したりできた。		基本的な生活習慣が身につくよう、各クラス目標を持って取り組むことができた。 季節感が味わえるように、自然に触れる機会を多くしたり、目で見る・耳で聞く・鼻で嗅ぐ・舌で味わうなど色々な経験が体験できるようにできた。		各クラス目標に向かい個別の対応をしたりできた。 年齢に関係なく交流したり、面倒を見たりと心の面からも成長できた子もいた。 地域交流があるためか、おじいちゃん・おばあちゃんたちにも優しくできた。		

【年間指導計画表】

平成30年度年間指導計画表

園長	主任	担当者

さくらんぼ組(0歳児)

富岡 トミ子

・保育者の愛情豊かな受容のもとで生理的、心理的欲求を満たし、心地よく生活する。
 ・一人一人の子供の働きかけを踏まえたいや言葉かけによって欲求が満たされ、安定感を持って過ごす。

年間保育目標	I期(4月～6月)	II期(7月～9月)	III期(10月～12月)	IV期(1月～3月)
ねらい	・保育者との応答的な関わり合いのなかで、安心して過ごす。 ・家庭と連携を密にとりながら、子ども一人一人の健康状態を把握する。	・保育者との関わりの中で、興味ある遊びをし、満足して過ごす。 ・日常生活に慣れ、保育士に導かれながら自分の好きな遊びを楽しむ。 ・安心でできる環境の中で一人一人がゆったりと過ごし、寝乳や睡眠等の生活リズムを整えていく。	・一人一人の発達に合った全身運動を楽しむ。 ・戸外遊びや散歩に出かけ、自然に興味や関心を持たせる。	・冬の健康管理に配慮し、外気に触れる機会を多く持つ。 ・子どもが自分でやりたいという気持ちを受けとめ、援助しながら満足が得られるようにする。
生命	・生理的欲求を満たし、気持ちよく生活できるようにする。 ・スキミングを多く取り、安心して過ごすように心がける。	・特定の保育士への信頼感が深まりつつも人見知りも覚えるので、不安を取り除いて豊かな感情を育ていく。	・保護者との話し合いにより一人一人の発達に合わせて、運動機能が発達するよう援助する。	・安心してできる保育士との関わりの中で、自己表出を十分にし、園生活を楽しくめるようにする。
情緒	・体調や個人差に合わせて外気浴や日光浴をする。 ・手足のびのびと動かし楽しむ。	・温度や湿度の変化に合わせて衣服の調節をしてもらい、快適に過ごす。	・自身を十分に動かす楽しみを得る。 ・静かな環境の中で安心して睡眠をとる。	・立つ、歩く、登る等の運動を積極的に行う。
健康	・食事・排泄・睡眠・着脱・安全・体調など	・身近な人との信頼関係を育み人間関係の基礎作りをする。	・一人遊びを十分に楽しめながらも、友達との存在にも徐々に気付けていく。	・異なる年齢児との交流を喜び、積極的に関わる。
人間関係	・特定の保育士とのスキミングや関わりを楽しむ。	・興味のある遊びを見つけ、落ち着いて取り組もうとする。	・色々な玩具の中から、自分の好きな物を選び遊ぶ。	・保育士の言葉や動作、言葉と動作、物を結びつけ、正しい言葉を獲得していく。
環境	・保育士や子ども同士の間でのやりとりや言葉、文字や記号への関心	・身の振りつき片言や囁語等で、保育士と簡単なやりとりをする。また、欲求を伝えようとする。	・色々な玩具の中から、自分の好きな物を選び遊ぶ。	・身近な動物や草花に興味を持ち、鳴き声を真似したりする。
言葉	・保育士との関わり、話したりの言葉や文字や記号への関心	・生活や遊びの中で、保育士のすることを模倣して楽しむ。 ・泣く、笑う等によって、保育士に思いを伝えてもらう。	・色々な玩具の中から、自分の好きな物を選び遊ぶ。	・色々な食べ物に興味を持ち、進んで食べようとする。 ・手づかみやスプーンで食べようとする。
表現	・きれいな色や音の出る玩具、また感触のよい物に興味を持つ。	・一人一人の発達状況を把握し、家庭や保育士間の連携をとる。	・保育士の歌に合わせて体を揺らしたリリズムをとったりする。	
食育	・特定の保育士との信頼関係のもとで、安心して食べたりの飲んだりする。	・一人一人の発達状況を把握し、家庭や保育士間の連携をとる。	・色々な味に慣れ、食事の時間を喜び、進んで椅子に座ろうとする。	
健康・安全	・保育士及び栄養士、看護師との協力体制をとって、日々の健康状態等を保護者と連絡しあって、共通理解をする。	・一人一人の発達状況を把握し、家庭や保育士間の連携をとる。	・色々な味に慣れ、食事の時間を喜び、進んで椅子に座ろうとする。	
健康・安全	・保育士及び栄養士、看護師との協力体制をとって、日々の健康状態等を保護者と連絡しあって、共通理解をする。	・一人一人の発達状況を把握し、家庭や保育士間の連携をとる。	・色々な味に慣れ、食事の時間を喜び、進んで椅子に座ろうとする。	
健康・安全	・保育士及び栄養士、看護師との協力体制をとって、日々の健康状態等を保護者と連絡しあって、共通理解をする。	・一人一人の発達状況を把握し、家庭や保育士間の連携をとる。	・色々な味に慣れ、食事の時間を喜び、進んで椅子に座ろうとする。	
環境・構成	・全身運動ができる遊び場の設定や玩具を用意する。	・散歩や戸外遊びにより、自然の中で過ごす心地良さを知らせる。	・絵本や紙芝居、わらべうた、玩具等、色々な物を用意させる。	・担任以外の保育士や異年齢児との交流の場を設ける。 ・指先を使う物を用意する。
援助・配慮事項	・快、不快の表情を受け止め、それに応じた適切な世話と豊かな応答を心がける。	・ゆったりとした雰囲気の中で保育者と1対1のふれあいを大切にする。	・周りにあるものに興味を示し、口に入れようとするので安全、清潔に十分注意し、やりたい気持ちを大切にさせる。	・午前睡がなくなっていくが、個々に応じて必要なときは睡眠が取れるようにする。
家庭との連携	・離乳食を進めるにあたり、家庭での状況を把握した上で保護者と相談しながら行う。	・感染症にかかりやすくなる時期を迎えるにあたり、個々の健康状態を細やかに観察し、保護者との連絡を密にする。	・子どもたちが活動しやすい服装を準備してもらうようにする。	・これまでの成長の様子を、送迎時の対話や園だよりで伝え、喜びを共有する。
行事	・入園式・運動会・総合運動会 ・誕生会・避難訓練 ・園生活・身体測定・遊戯会・内科検診・歯科検診	・誕生会・親子遠足・夕涼み会 ・身体測定・避難訓練・夏祭り	・誕生会・避難訓練・身体測定・お遊戯会・内科検診・歯科検診	・誕生会・避難訓練・身体測定・感謝祭
自己評価	ふれあいや遊びの楽しさを伝えて信頼感が育つように努める。	ふれあいや遊びの楽しさを伝えて信頼感が育つように努める。	ふれあいや遊びの楽しさを伝えて信頼感が育つように努める。	ふれあいや遊びの楽しさを伝えて信頼感が育つように努める。

【年間指導計画表】

平成30年度年間指導計画表

園長	主任	担当者

年間保育目標		いちご組(1歳児)		
生活リズムが安定し、信頼できる保育士のもと、個々が安心してありのままの自分を表現する。 食事、排泄、着脱等身の周りのことを自分でやる気持ちは育てる。 友達との様々な触れ合いの中で、いろいろな気持ちは味わい、関わりを深める。		担当保育士	福村 真紀子	
期	I 期(4月～6月)	II 期(7月～9月)	III 期(10月～12月)	IV 期(1月～3月)
ねらい	新しい環境に慣れ、安心して過ごす。欲求を満たす。 個々の生活リズムを大切にし、甘えや欲求を満たす。 戸外で暑の自然と触れ合う。	保育士との結びつきを深くし、友達との関わりを持つ。 身の周りのことに関心をもち、自分でやる気を持つ。 夏の遊びを思いきり楽しむ。	戸外で全身を使った遊びを存分に楽しむ。 生活の様々な場面で、友達との存在を意識し関わる。 保育士とのやりとりを通して発語を楽しむ。	友達や異年齢児と関わり、一緒に遊ばせ、楽しみを味わう。 日々の生活の流れがわかり、自分でできるようにする。 寒い日でも戸外で体を動かして遊ぶことを楽しむ。
生命	一人一人に合った生活リズムで、無理なくゆったりと過ごす。	個々の生活リズムを大切にしながら、安心して休むことができるようになる。	季節の変化に留意し、保健的で安全な環境を作り、心身共にのびのびと過ごす。	冬の健康保健に留意し、心身共にのびのびと過ごす。
情緒	一人一人の心身の状態を把握し、暖かく受け入れ信頼感が芽生えるようにする。	一人一人の思いを理解し受けとめて信頼関係をつくる。	一人一人子どもの意欲や思いを理解し受け止めることと信頼関係を築き、安心して自己発出ができるようになる。	個々の心情(甘え、自立)を受け止め、欲求を満たし、情緒の安定を図る。
健康	楽しくゆったりとした雰囲気の中で食事をすすめる。	食事が着脱、排泄を自分でやってみようとする。	排尿がない時も、トイレに座ってやってみる。衣服の着脱を少しずつ自分でやってみる。	身の周りのことに興味を持ち、自ら進んで行う。
人間関係	自分の好きな場所や遊びを見つけ、保育士と触れ合いつつ遊ぶ。 保育士に守られ、一人遊びを十分に楽しむ。	保育士が仲立ちとなつて友達と関わり、簡単なやりとりを楽しむ。(どうぞ、入れて、ありがとう等)	保育士を介して、同年齢や異年齢の子どもと一緒に過ごすことを楽しむ。 全身を使うこと遊び等で友達と関わる。	異年齢児と一緒に、ごっこ遊びや散歩、見立て遊びを楽しむ。
環境	戸外で春の自然(花、虫等)に興味を持ち親しみ、楽しむ。	水遊びやプール等、夏ならではの遊びを楽しむ。	おもちゃの場所や自分のロッカーがわかり、片付けようとする。 散歩に出かけ、自然探索を楽しむ。	雪・霧・氷等の冬の自然に興味を持ち楽しむ。 折り紙や型入れ遊び等を通して、色や形の違いがわかり、造形を楽しむ。
言葉	保育士との関わりや絵本を通して、言葉の理解を深めたり模倣したりする。	欲求や気持ち、身振りや簡単な言語で表現する。	好きな歌や絵本、保育士とのやりとりを通して、言葉の繰り返しが楽しくなる。	ごっこ遊び等の中で、保育士や友達と簡単な会話のやりとりを楽しむ。
表現	ピアノや歌に合わせて手指や全身を動かす。	手遊び等簡単な模倣遊びを繰り返して行う、楽しむ。	音楽に合わせて体を動かす。 クレヨンや絵の具で色や模様を描く。	ピアノや音楽に合わせて、友達と一緒に踊ったり歌ったりして楽しむ。
食育	保育士や友達と、楽しい雰囲気の中で食事をすすめる。 正しい姿勢で、スプーンやフォークを使う。	種や苗の生長過程を見たり触れたりして興味を持つ。	苦手な物や皿に残った物も頑張って食べてみようとする。	こぼしながらでも一人で最後まで食べようとする。 皮と実の部分の違いがわかる。
健康・安全	保育士の促しにより、危険回避をしようとする。	避難訓練により、地震と火事の違いがわかり始める。 手洗いの仕方がわかる。	救急車や消防車等に興味を示す。 手洗いや歯みがきをすすんで行う。	うがいしようとする。 鼻水を自分でかめるようになる。
環境・構成	室内外の安全点検を十分に行い、危険箇所については共通理解しておく。	水遊びが安全に行えるよう、消毒等衛生面に十分配慮をする。	園庭の危険箇所について、保育士間で十分把握しておく。 個々に合わせて満足感が得られるようにする。	苦手な部分を把握し援助する。できたことを十分に誉め自信につなげていく。
援助・配慮事項	保育者同士が一人一人の姿や様子を把握し、声を掛け合いながら安心して過ごせるようにする。	こまめに衣服を替えたり汗を拭いたりして、気持ちよく過ごせるようにする。	子どもが自分でやるようとする気持ちや大切にしたいところを把握し、側で見守る。	寒い戸外でも体を動かしたり、散歩に出る機会を持つようにする。
家庭との連携	子どもの様子やクワソの出来事お知らせ等連絡ノートや口頭で知らせる。	夏ならではのあそびについて、家庭と個々の体調を把握しながら連絡を取り合う。	気温の変化から体調を崩す子どもも見られるので、家庭と連携を取りながら健康に過ごせるようにする。	冬季の感染症の情報や家庭に伝え、予防に努める。
行事	入園式・健康診断・誕生会 運動会・総合避難訓練・身体測定	誕生会・避難訓練・夕涼み会・七夕・親子遠足 秋祭り 足んばり 身体測定	誕生会・お遊戯会・避難訓練 身体測定	誕生会・豆まき・卒園式 身体測定・避難訓練・感謝祭
自己評価	一人遊びが少なく、他児が遊んでいよう物を取り合いが自立しました。何度も繰り返して遊べるようになりました。	水を冷たく感じる嫌がなくなりました。水がつかないで遊ぶことが多くなりました。手洗いや歯みがきをすすんで行うようになりました。	水の冷たさを感じる嫌がなくなりました。水がつかないで遊ぶことが多くなりました。手洗いや歯みがきをすすんで行うようになりました。	衣服の着脱が上手になりました。オシッコの時上り下りできるようになりました。お風呂の入り方が上手になりました。

注意が必要

【年間指導計画表】

平成30年度年間指導計画表

- ・ 基本的な生活習慣を身につけ、自分の思いを言葉で表出できるようにする。
- ・ 自分の好きな遊びを楽しむ、のびのびと体を動かして丈夫な体づくりをする。
- ・ 自分でできることは自分で、自信を持つ。
- ・ 排泄を教えることができ、トイレで排泄する。

園長	主任	担当者

もも組(2歳児)

教育	ねらい	期間			担当保育士	
		I期(4月～6月)	II期(7月～9月)	III期(10月～12月)		IV期(1月～3月)
教育	生命	新しいクラスや友達に慣れ、園生活を楽しく過ごす。 自分の持ち物の片付け方がわかる。	生活のリズムがわかり、身の周りのことを進んでしようとする。 水や砂の感触を十分楽しむ。	友達に関心を持ちながらリズム遊びや絵画を楽しむ。	友達との関わりを深め、簡単な集団遊びを楽しむ。以上児との交流を持ち、進級への期待を醸成させる。	高梨 悠香
	情緒	食事や排泄、午睡が安心してできるよう、一人一人に合った対応をする。	一人一人の健康状態に気を配り、活動と休息のバランスに配慮する。	手洗いやうがい、衣服の調節を、少しずつ自分でできるような習慣づける。	基本的な生活習慣の習得を個々に合わせて繰り返し、一人でできた喜びを味わえるようにする。	
	健康	手洗いや手拭き、歯みがきを自分でする。保育士に真守られ、睡眠や排泄を安心して行う。	咽喉の渇きを感じて自分で水分補給をしたり、「暑い」「涼しい」がわかったりする。	自分でしようとする意欲を認め、優しく見守りながら自信を持たせていく。	保育士や友達に認められ共感し合う中で、安心して生活ができるようにする。	
	人間関係	保育士や友達と安定した関わりで安心して過ごす。	保育士に思いを受けとめてもらいながら、他児とも自ら関わっていく。	身の周りのことが、自分でできるようになる。	身の周りのことを、友達と一緒にできるようになる。	
	環境	自分のロッカーや持ち物を覚える。身近な自然物に興味を示し、名前を知ろうとする。	水遊びや泥遊び等、全身でその感触を楽しむ。	園外に出かけ、秋の自然物に親しむ。簡単な数や色、形の違いを理解しようとする。	簡単なごっこ遊びを通して相手の思いを受け入れるようになる。	
	言葉	手遊びや歌を通して、言葉の響きを楽しむ。体操やダンス、全身を使った遊びを保育者と一緒に楽しむ。	好きな絵本を繰り返し読み、色々な言葉を感じる。	遊びを通して色々な物の名称を覚える。	質問に答えたり、挨拶をしたりする。自分の考えを、身振り手振りを交えて伝えようとする。	
	表現	楽しい雰囲気の中で食事をすすめる。	全身を使って踊ったり走ったりする。	絵本や物語の登場人物になりきって遊ぶ。	季節に合った作品を、保育士と一緒に作ることを楽しむ。	
	食育		よく噛んで最後まで食べる。	苦手な物も頑張っで食べる。	箸の使い方を覚えようとする。	
	健康・安全		避難訓練に参加する。健康診断を受ける。	交通安全の話を聞く。防災訓練に参加する。	防災の種類ごとの合図を聞き分ける。	
	環境・構成		個別マークを覚える。遊具、玩具の安全点検をする。	戸外でも日陰の場所や風通しの良い場所を確保し、十分休息をとる。	一人一人の育ちを見直し、遊びへの興味や発達課題を再確認する。	
援助・配慮事項		「可愛いわね」と言葉にして褒めを伝える。季節紙やお迎えの時間を利用して、園での様子を伝えて保護者の不安を取り除くとともに信頼関係を築く。	夏と冬の暑い時期や寒い時期に合わせた服装や靴の履きかえを促していく。子供たちの悪いや欲求を保育者がくみ取って代弁していき、子供たちの安心感を持ってもらい、言葉の発達も促していく。	園に馴染む言葉や言葉を覚える。一人ひとりの生活習慣や成長の様子を把握し、進級しても戸惑わないように指導する。		
家庭との連携		入園式・進級式・誕生会、運動会・健康診断・避難訓練	誕生会・秋祭り・避難訓練・お遊戯会	誕生会・節分・卒園式・避難訓練・感謝祭		
行事						
自己評価					の進級に向けて、様々な活動に取り組むことが出来た。	

園長	主任	担当者
		小田

【年間指導計画表】

平成30年度年間指導計画表

年間保育目標		みかん組(3歳児)	
		担当保育士	小田 由佳
		IV期(1月~3月)	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣が身に付き、自信を持って過ごす。 友達や玩具を共有できるようになり、遊びを発展させていく。 遊びを通して生活への自覚性が豊かになり、十分に認めることができる。 意欲をもって取り組む気持ちを大切に、できたことを誉め、心の安定に努める。 成長したことを認め、自分でできた満足感や達成感を味わえるようにする。 簡単なルールのあるゲームを喜んで行い、友達と遊ぶ楽しさを味わう。 冬の自然物に触れて遊び、興味や関心を持つ。 この遊びで言葉のやりとりを楽しんだり、なりきったりして遊ぶ。 色々な素材を使い慣れ、経験の積み重ねによって、絵の表現が上手になったり作品のイメージが膨らんだりする。 服立や食品に関心を持つ。 箸や茶碗を正しく持ち、楽しく食事をすすめる。 冬の健康な過ごし方(手洗い、うがい)などを十分にできるようにする。 異年齢児との交流の場を多く作り、かかわりをより深められるようにしていく。 一年間でできるようなことになったことを伝え、進級への期待をもてるようにする。 子供の成長を過程でもほめてもらい、喜びを共有する。
		III期(10月~12月)	<ul style="list-style-type: none"> 身近な自然に触れ、色や形の違い、変化に興味を持つ。 表現力や生活力が育つ。 快通な生活を覚え、安心して集団生活を過ごす、日々満足感が得られることに共感する。 保育士や友達との信頼関係が育ち、気持ちを伝え合うようになる。 身の周りのことを自分でする。 走る、跳ぶ、投げる等、全身を使った遊びのびと遊ぶ。 一緒に遊びたい気持ちから、我慢することを見える。 園外に出かけて見てつけた秋の自然物を、製作や遊びに取り込む。 思ったことや感じたことを言葉で伝え合う。 楽器に興味を持ち、みんなで一つの音遊びをする楽しさを味わう。 様々な食品を選んで食べる。 行事食に興味を持つ。 気温差に注意し、換気をこまめに行う。 園庭でのびのびと運動ができるよう、整備をする。 身近な自然物をあそびの中に取り入れることで、季節の移り変わりに気づくようになる。 行事への取り組みや生活の様子を伝え、成長の喜びを共有する。
		II期(7月~9月)	<ul style="list-style-type: none"> 新しい活動に興味を持ち、遊びの範囲が広がる。 夏ならではの遊びを全身で楽しむ。 楽しく遊べるための環境の安全、事故防止に努める。 自己中心的な感情が多く見られるが、人との関わりの中で自己制御や社会性を体験させ学ばせる。 保育士の声かけで身の周りのことや休息、水分補給をすすめる。 水遊び、水遊び、絵の具遊び等、開放感や変化のある遊びをおもしろさを十分に味わう。 友達とのトラブルを経験し、保育士の仲立ちにより相手の思いにも気付いていく。 水、砂、泥など自然の素材にふれて感触を楽しむながら遊ぶ。 絵本や周りの人とのやりとりの中から言葉や言葉を習得し、簡単な会話を楽しむ。 色々な素材や用具を使って、好きなように表現することを楽しむ。 歌遊びやリズム遊びを楽しむ。 食生活に必要な習慣を知る。 食前の手洗いが習慣になる。 夏に流行しやすい感染症に留意し、予防に努める。 水分補給を十分に行い、静と動のバランスを取りながらゆったりと過ごす。 お互いの思いを受け止めながら、相手の気持ちを伝え、納得できるように仲立ちしていく。 夏の病気や予防法を送迎時や連絡帳などで知らせしていく。
		I期(4月~6月)	<ul style="list-style-type: none"> 新しい環境に慣れ、安心して過ごす。 保育や友達と一緒に、好きな遊びを見つけていく。 環境の変化に不安を感じることもあるので、一人一人の発達状態を十分把握し、適切な援助をする。 できる事は多少時間がかかっても、優しく見守り自信をつけていく。 手助けされながら、身の周りのことを自分でしようとする。 戸外で様々な遊びを十分に楽しむ。 保育士がそばにいて、安心して生活を営んでいく。 生活や遊びの中で、簡単なルールを覚えていく。 戸外に出て体を動かしたり、草花に触れて遊ぶ。 自己主張が多く、言葉での表現が未熟なため友達とトラブルになる。 生活の中で必要な挨拶の言葉が使える。 気に入った遊びを繰り返す楽しむ。 楽しい雰囲気の中で、友達と一緒に食事をすすめる。 準備や後片付けの仕方を知る。 環境の変化で体調を崩しやすいので、一人一人の健康状態を十分把握し適切に対応する。 個人差を考慮しながら、新しい環境に慣れさせていく。 着る物の一つ一つにつけ、手洗いがやりやすいようにする。 園庭を安全に楽しむことのできるよう、安全な遊びをすすめる。 送迎時に園や家庭での様子を伝え合うことで保護者に安心感をもってもらい、信頼関係を築いていく。
養護	ねらい		
生命			
情緒			
健康			
人間関係			
環境			
言葉			
表現			
食育			
健康・安全			
環境・構成			
援助・配慮事項			
家庭との連携			
行事			
自己評価			<ul style="list-style-type: none"> 環境の変化に不安を感じることがなく、身のまわりのことを一人で進んでできた。身のまわりのことを一人でやることができるようになった。 友達と遊ぶ楽しさを味わうことができた。 言葉での表現が上手になった。 生活の中で必要な挨拶の言葉が使えるようになった。 食生活に必要な習慣を知ることができた。 夏に流行しやすい感染症に留意し、予防に努めることができた。 水分補給を十分に行い、静と動のバランスを取りながらゆったりと過ごすことができた。 お互いの思いを受け止めながら、相手の気持ちを伝え、納得できるように仲立ちすることができた。 夏の病気や予防法を送迎時や連絡帳などで知らせることができた。

平成30年度年間指導計画表

生活に必要な習慣や態度を身につけ、決まらぬ友達や友達と楽しく元気に過ごす。
 ・豊かな生活体験や遊びの中で、意欲的に表現活動を行い、想像力や創造性を育てる。

ぶどう組(4歳児)

担当保育士
 小田 由佳

年間保育目標	ぶどう組(4歳児)	
期	I 期(4月~6月)	II 期(7月~9月)
ねらい	生活や遊びの中で興味、関心を広げ、楽しい園生活を送る。 行事に楽しんで参加し、意欲的に取り組む。 園生活の決まりが理解でき、安全に気を付けて遊べるようにする。	身近な事象に触れる中で、豊かな感性を育てる。集団生活で大切な約束事を理解し、守りながら楽しく遊ぶ。 基本的な生活習慣や態度を身につける。
生命	友達や保育士に親しみ、安定した関係性の中で安心して活動できるよう見守る。	一生懸命やっつた後の満足感や達成感を味わう。
情緒	新しい生活の場に関わり、園生活のリズムを覚え、基本的な生活習慣を身につける。	体の構造、仕組みに興味を持ち、体と食物の関係を理解しながら食事をする。
健康	仲間といることの喜びや楽しさを感じながら、つながりやを深める。	友達と積極的に関わり、喜びや悲しみを共有しあう。
人間関係	園内の身近な小動物や春の草花に興味、関心を広げ、飼育や観察をし、遊びに取り入れながら楽しむ。	身近な動物や自然事象に関わりながら、その大きさや美しさを観察し、言葉で表現する。
環境	友達や保育士に親しみをもち、日常生活に必要な挨拶や言葉交換を交わす。	絵本や物語に興味を持ち、イメージを広げたり、興味を持って文字を探して読んでみようとしたり。
言葉	生活の中で様々な音、色、形、手触り、動き、味、香りなどに気付いたり、感じたりして楽しむ。	歌詞に興味を持ち、リズムを楽しんだり、音楽や、リズムに合わせて歌ったり。
表現	さまざまな食材があることを知り、食べる楽しさを味わう。	食材に興味を持ち、料理される前の状態を知る。
食育	手洗いうがいや丁寧に行う。	危険な遊びを取り上げ、正しい遊び方を再確認できるようにする。
健康・安全	園内外の点検を行う。	屋根の雪を下ろし、落下防止をする。
環境・構成	一人一人の子どもの健康状態を把握し、異なると感じた場合は、子どもが体調を話せばすぐに配慮する。	子どもの気持ちや考えを聞き、個人差を考慮して、子どもが安心して活動できるようにする。
援助・配慮事項	基本的な生活習慣が身につくよう、コミュニケーションを密にとる。	雑音や言葉のかけを伝える、成長発達を促す言葉を伝える。
家庭との連携	入園式・内科検診・運動会 総合避難訓練・誕生会・英語教室 歯科検診・身体測定	敬老会・芋ほり会・お遊戯会 避難訓練・誕生会・身体測定 歯科検診・内科検診
行事	・新しい環境にも小鼻木でのびのびと ・おやじさんの言葉を喜んで行ったり、道具の出し入れの面白さを伝える。また、おやじさんといっしょに遊んで楽しむ。	・おやじさんの言葉を喜んで行ったり、道具の出し入れの面白さを伝える。また、おやじさんといっしょに遊んで楽しむ。
自己評価	・手洗いうがいや丁寧に行う。 ・園内外の点検を行う。	・敬老会・芋ほり会・お遊戯会 ・避難訓練・誕生会・身体測定 ・歯科検診・内科検診 ・おやじさんの言葉を喜んで行ったり、道具の出し入れの面白さを伝える。また、おやじさんといっしょに遊んで楽しむ。

【年間指導計画表】

平成30年度年間指導計画表

年間保育目標		りんご組(5歳児)		
<ul style="list-style-type: none"> 健康な生活リズムを身に付け、友達と体を十分に動かかし、心地よさや楽しさを味わい、進んで運動する。 生活の中で必要な言葉を身に付け、自分の気持ちを表現するとともに、伝わる喜びや、伝えあう心地よさを味わう。 		園長	主任 担当者	
		木村 聖奈		
期	I期(4月～6月)	II期(7月～9月)	III期(10月～12月)	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 新しい生活に慣れ、保育者や友達と一緒に生活する楽しさを味わう。 年長児としての意識を持ち、友達との遊びや生活を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 夏の遊びを楽しむ中で、友達とのつながりがりを広げる。 身近な自然への関心を深めながら不思議さ、美しさに感動する。 戸外での遊びや、水遊びに楽しんで参加し、十分に楽しむとともに、適切な休息の取り方に気づく。 生活リズムを整えることの大切さを理解できるようになる。 自分で衣服の調節をしたり汗の始末をしたり、夏の生活の仕方が身につく。 友達同士でルールを相談したり感情の行き違いを経験したりして、相手の思いに気づいていく。 身の周りの事象や季節の変化に気づき、感性が豊かになる。 自分の経験や思い、考えを自分の言葉で話し、伝えていく。 水、砂、泥を全身で感じ、遊びを発展させていく。 食物と体の関係に興味を持つ。 収穫した野菜を重べることで、食への意欲を高める。 避難訓練の大切さや意味を理解し、安全に避難しようとする。 遊びの中で基本的な動きや技能を十分経験できるようになる。 自分で気づいて水分補給が出来るように準備し、活動中一休みをするよう促していく。 水遊びの時期は、水遊びへの参加の有無を連絡帳に記入してもらい、健康状態を把握する。 七夕誕生会、夕涼み会、秋祭り、遠足、避難訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な経験や対人関係の広がりを通し、自立心を高め、就学への意欲を持つ。 基本的な生活習慣が身につく。自分でできたことに自信や満足感をもてるようになる。 安定した生活リズムと人間関係の中で、ゆったりと安心して過ごせるようになる。 置きに身けず体を動かかし、色々な運動遊びに取り組み、就学することに向けて準備を持ち、早寝早起きの生活リズムを身につける。 友達と役割を分担し協力して完成の喜びを味わう。 自分達の生活の場をみんなで協力しあって使いやすく整えたり飾ったりする。 みんなで共通の話題を話し合い、自分の考えを話す。 生活の中で感じたことや考えたことを、自由に表現する。 食材や調理する人への感謝の気持ちを育てる。 色々な伝統食、行事食の由来を知る。 訓練を通して、防犯意識を高めていく。 園生活を振り返り、仲間といることの楽しさ、クラスでのつながりがりやまとまりをみんなが感じられるようにする。 安心して就学を迎えられるような言葉かけや活動を行う。 就学に向けて不安がないか、家庭との連絡を丁寧に、子どもの様子を伝え合うようにする。 	
養護	<ul style="list-style-type: none"> 十分に体を動かして遊び、進んで食事をすすめる。 保育士との関わりの中で信頼関係を築き、自分の気持ちを伝え安心して過ごせるようにする。 			
教育	<ul style="list-style-type: none"> 新しい場や年長児としての生活の仕方や習慣を身に付ける。 グループ活動の中で、遊びを工夫したり計画を立てたりして友達とのつながりを深める。 自然物を取り入れて遊ぶことを楽しむ。 保育士や友達の話をよく聞いて、内容を理解したり自分の気持ちを伝えようとしたりする。 友達と声を合わせて歌う気持ちよさを味わう。 友達と一緒に食べる楽しさを味わう。 野菜栽培を通して、生長や変化に気づく。 避難訓練の大切さをしり、真剣に避難しようとする。 手洗いうがいの大切さを改めて再確認する。 子どもと一緒に生活の場をつくることを大切にしたいし、その過程で年長児になった実感をもてるようにする。 個々の様子を見守り、安心して過ごせるように、信頼関係作りに努める。 環境の変化により不安定になりやすくなるため、園と家庭での様子や過ごし方について連絡帳や口頭で丁寧に伝え合い、信頼関係を築くようにする。 			
健康・安全				
環境・構成				
援助・配慮事項				
家庭との連携				
行事				
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの個性を大切に育て、クラスで自分は何が得意なのか、伝えあうから、活動の楽しさを進めたい。 一人ひとりの個性を大切に育て、クラスで自分は何が得意なのか、伝えあうから、活動の楽しさを進めたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 敬老会、いも堀り、お遊戯会、避難訓練、誕生会、 七夕誕生会、夕涼み会、秋祭り、遠足、避難訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 敬老会、いも堀り、お遊戯会、避難訓練、誕生会、 七夕誕生会、夕涼み会、秋祭り、遠足、避難訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 節分、ひな祭り会、お別れ遠足、卒園式、避難訓練

小川原保育園の生活 <1日の流れ>

未満児（0.1.2歳児）		以上児（3.4.5歳児）	
7:00~8:00	早番保育	7:00~8:00	早番保育
8:00~9:00	登園	8:00~9:00	登園 (朝の準備等)
9:00~9:30	おやつ（朝の会）	9:00~9:30	朝の会
9:30~11:00	組別保育 (誕生会等)	9:30~11:30	組別保育 (誕生会等) 月2回英語教室
11:00~12:00	給食準備・給食・ 片付け	11:30~12:00	給食準備・給食・ 片付け
12:00~14:45	午睡準備・午睡	12:00~12:45	自由遊び
		12:45~14:45	午睡準備・午睡
15:00~	おやつ準備・おやつ 帰りの会・降園準備	15:00~	おやつ準備・おやつ 帰りの会・降園準備
16:00~	降園	16:00~	降園
18:00~	遅番保育（延長保育）	18:00~	遅番保育（延長保育）

※一時預かり保育 9:00~（園舎内保育室利用）

※延長保育 18:00~19:00（園舎内保育室利用）

平成30年度延長保育事業 実践報告書

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
短時間16:00~	13	16	20	22	11	13							
18:00~	44	47	38	48	24	26	39	37	48	29	32	38	450 (人)
18:30~	4	6	28	18	9	13	4	19	6	7	7	5	126 (人)
	61	69	86	88	44	52	43	56	54	36	39	43	671 (人)

一時預かり事業 実践報告書(平成30年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	2	2	1	2	2	3	3	2	2	3	2	2	26
日	13-20	11-24	26	2-24	1-28	4-11-28	2-16-23	13-27	4-18	9-15-29	12-18	5-19	

平成30年度 短時間利用者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5歳児													0
4歳児													0
3歳児	1	1	1	1	1	1	1						7
2歳児													0
1歳児													0
0歳児													0
合計	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	7

H30 年度研修報告

年間目標：緊急時の対応の仕方について学ぶ			
4 月	アレルギー対応	蛭名ひ	5/1
5 月	身の周りの危険	蛭名ひ	6/1
6 月	食中毒について	小田	6/29
7 月	救命救急	木村	7/24
8 月	夏場に多い感染症	富岡	8/1
9 月	身の回りにある危険	蛭名ま	9/25
10 月	気になる子の対応	小田	10/30
11 月	感染症について	高梨	11/27
12 月	流行性の病気について	高梨	11/27
1 月	食中毒の対応	木村	1/31
2 月	アレルギーについて	蛭名ま	3/1
3 月	緊急時の避難の仕方	蛭名ひ	3/26

